

全ゲノム解析の現状について
紹介する井元教授



ゲノム解析の現状解説

弘大^大COI^{専業} 井元教授(東)講演

弘前大学と県、民間 究推進機構「事業の一
企業が連携して脳卒中 環で、弘大は24日、同
や認知症の早期予兆発 大大学院医学研究科で
見、予防法開発に取り 特別講演会を開いた。
組むプロジェクトの研 東京大学医科学研究
究拠点「COI拠点研 所の井元清哉教授が講

師を務め、「ゲノムビ
ッグデータ時代の予防
医療応用研究最前線」
と題して講演した。

井元教授は、ゲノム
解析の現状について解
説。ヒト全ゲノム解析
にかかる費用は10万円
で、13年前の10万分の
1の価格でできるよう
になったことなど、今
後ますます全ゲノム解
析が発展することを説
明した。

東大医科研では、低
コストでゲノム解析が
できる装置を活用し、
100万人のゲノム情
報と疾病・体質などの
情報を統合したビッグ

データの構築と利活用
で、社会のニーズと現
状のギャップを埋めよ
うとする取り組みを行
っていることを紹介。
ゲノム解析を活用し
た健康長寿社会づくり
について、井元教授は

「(全ゲノム情報やラ
イフスタイルなど)こ
れらの情報を統合的に
解析し解釈することが
必要。医科学と情報科
学の協力が鍵になる」
と語った。

(成田真矢)